

研究開発課題別中間評価結果

1. 研究開発課題名：次世代メディアコンテンツ生態系技術の基盤構築と応用展開
2. 研究代表者：後藤 真孝（産業技術総合研究所 情報技術研究部門 首席研究員）
プログラムマネージャー：伊藤 博之（科学技術振興機構）
3. 中間評価結果

本研究開発課題は、音楽の中身を自動解析する技術（音楽理解技術）を強化することにより、相互効果のある鑑賞・創作・協創支援技術と、それらのコア技術となる大規模音楽分析合成技術を構築することで、「音楽コンテンツ生態系のサービスプラットフォーム」を実現し、次世代メディアコンテンツ産業の発展に貢献する研究開発を進めている。

基盤技術である音楽理解技術の展開により、音楽と同期して歌詞を表示できるスピーカー製品「Lyric Speaker」/「Lyric Speaker Canvas」、演奏中の楽曲の歌詞を表示できる DJ ツール製品「rekordbox lyric」、歌詞のトピック解析技術に基づくサービス「Lyric Jumper」などが実用化されている。また、鑑賞・創作支援サービスとして、インターネットを介した大規模音楽連動制御を手軽に実現できるサービス「Songle Sync」、好みの演出の動画を作って楽しめる歌詞アニメーション制作支援サービス「TextAlive」などを利用したデモ、イベントでの実証試験を蓄積することで、POC の目標達成に向けて順調に基盤技術の応用展開が進展している点は評価できる。

ACCEL 後半では、企業と連携した実証試験とコア技術追求の両輪により研究開発を推進することで、事業化に向けた成果の橋渡しが期待できる。

以上

ACCEL 研究開発運営委員会
委員長 松本 洋一郎